

第4期宮城県がん対策推進計画 指標一覧

A 最終アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典		
			国	県	2次医療圏	年/年度				
A101		年齢調整死亡率（75歳未満）	67.4	67.7		○	R3	12%減少	人口動態統計 国立がん研究センターがん情報サービス（人口動態統計）	
A102		がん種別年齢調整死亡率	食道	2.4	2.5		○	R3	減少	人口動態統計 国立がん研究センターがん情報サービス（人口動態統計） 基準人口は昭和60年モデル人口
			胃	6.6	6.6		○			
			結腸	5.9	5.4		○			
			直腸	3.7	4.1		○			
			肝	3.7	4.0		○			
			胆	2.0	1.9		○			
			膵	7.0	7.6		○			
			肺	11.9	12.0		○			
			乳房	9.9	8.5		○			
			子宮	4.9	5.3		○			
		前立腺	2.1	1.8		○				
A201		現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	70.5%	59.9%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
A202		現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	69.2%	○		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
A203		現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合	66.8%	○		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	

B 分野別アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典		
			国	県	2次医療圏	年/年度				
B101		がん種別罹患率	全部位（男）	445.7	453.6		○	R1	減少	全国がん登録
			全部位（女）	346.7	352.6		○			
			食道（男）	17.6	19.4		○			
			食道（女）	3.4	4.7		○			
			胃（男）	63.4	77.3		○			
			胃（女）	23.1	27.8		○			
			結腸（男）	43.4	42.2		○			
			結腸（女）	30.0	29.3		○			
			直腸（男）	29.8	30.8		○			
			直腸（女）	14.9	15.9		○			
			肝（男）	19.0	16.6		○			
			肝（女）	6.0	4.4		○			
			胆（男）	8.0	9.6		○			
			胆（女）	4.6	5.0		○			
			膵（男）	17.3	17.5		○			
			膵（女）	12.3	12.2		○			
			肺（男）	61.9	64.2		○			
			肺（女）	26.1	27.9		○			
			子宮頸（女）	13.9	9.3		○			
子宮体（女）	20.2	18.8		○						
乳房（女）	100.5	103.6		○						
前立腺（男）	68.2	59.6		○						
B201		早期がんの割合	○	○	○		改善	全国がん登録		
B202		進行がん罹患率	○	○	○		改善	全国がん登録		
B301		がん生存率	○	○	○		改善	全国がん登録		
B302		小児がん患者の生存率	○	○	-		改善	全国がん登録		
B303		がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	7.9	8.0	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B304		若者ががん患者のがんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	7.8	○	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B305		一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	75.6%	77.1%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B306		治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.2%	74.9%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B307		身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B308		精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B401		身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	69.2%	59.8%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B402		がん相談支援センターを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	86.9%	○	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B403		ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	88.1%	○	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B404		家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	47.1%	48.9%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B405	○	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.2%	74.9%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B406		治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	5.0%	9.0%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B407		金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	26.9%	36.3%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B408		がんと診断されたから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3%	79.9%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B409		がん患者の在宅死亡割合	27.0%	28.3%	-	R3	改善	人口動態統計（医療計画作成支援データブック）		
B410	○	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		
B411	○	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）		

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏				年/年度
C0101		喫煙率	○	18.8%		－	R4	12% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0102		20歳未満の喫煙率	－	－		－	－	0% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0103		妊娠中の喫煙率	○	1.4%		－	R4	0% R17 (2035) 年	健康推進課調べ
C0104		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（家庭（毎日））	○	12.6%		－	R4	0% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（職場（毎日・時々））	○	22.0%		－	R4	0% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（飲食店（毎日・時々））	○	13.8%		－	R4	0% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0105		喫煙の健康影響に関する知識の普及（肺がん）	○	82.7%		－	R4	100% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0106		1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上の者の割合	○	17.6%		－	R4	12% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合	○	9.4%		－	R4	6% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0107		運動習慣のある者の割合（20～64歳男性）	○	15.5%		－	R4	25%以上 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（20～64歳女性）	○	12.2%		－	R4	25%以上 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（65歳以上男性）	○	24.8%		－	R4	30%以上 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（65歳以上女性）	○	16.8%		－	R4	30%以上 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0108		野菜の摂取量	○	275g		－	R4	350g以上 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		果物の摂取量	○	83.7g		－	R4	200g R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0109		食塩摂取量	○	10.4g		－	R4	－	県民健康・栄養調査
		食塩摂取量（男性）	○	11.2g		－	R4	7.5g未満 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
		食塩摂取量（女性）	○	9.7g		－	R4	6.5g未満 R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0110		BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	○	56.6%		－	R4	66% R17 (2035) 年	県民健康・栄養調査
C0111		拠点病院での禁煙外来受診患者数	－	要検討		－		改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C0112		拠点病院が地域を対象としたがんに関するセミナーの開催回数・参加人数	○	要検討		○		改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C0201		HPVワクチン実施率	○	18.11%		○	R4	改善	地域保健・健康増進報告（接種者数）
C0202		B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	－	95人		－	R3	改善	疾病・感染症対策課調べ
C0203		肝疾患専門医療機関数	3,739機関	18機関	仙南 仙台 大崎 石巻	1機関 12機関 2機関 3機関	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ
C0204		肝炎医療コーディネーター養成者数	－	366人		－	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ

C 初期アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典		
			国	県	2次医療圏	年/年度				
C0301		がん検診受診率	胃	41.9%	52.1%		—	R4	70%	上段：国民生活基礎調査 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」 下段：県民健康・栄養調査
			肺	45.9%	55.2%		—			
			大腸	49.7%	60.0%		—			
			子宮	47.4%	58.0%		—			
			乳	43.3%	52.1%		—			
C0302		指針に基づく各検診部位の検診を「実施した」と回答した市町村数	胃	99.8%	100.0%		—	R4	維持	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
肺	99.8%	100.0%		—						
大腸	99.9%	100.0%		—						
子宮頸	99.7%	100.0%		—						
乳	99.7%	100.0%		—						
C0303		個別勧奨を実施している市町村数	胃	82.3%	88.6%		—	R4	改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
肺	80.2%	82.9%		—						
大腸	83.7%	80.0%		—						
子宮頸	83.5%	68.6%		—						
乳	83.2%	68.6%		—						
C0401		精密検査受診率	胃	83.5%	93.6%		○	R2	95%以上	地域保健・健康増進報告
肺	82.6%	83.9%		○						
大腸	70.2%	84.5%		○						
子宮	76.6%	96.2%		○						
乳	89.8%	97.5%		○						
C0402		要精検者全員に受診可能な精密検査機関名の一覧を提示した市町村の割合	胃X線(集団)	—	82.9%		—	R4	改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
胃X線(個別)	—	100.0%		—	維持					
胃内視鏡(集団)	—	100.0%		—	維持					
胃内視鏡(個別)	—	50.0%		—	改善					
肺(集団)	—	80.0%		—	改善					
肺(個別)	—	100.0%		—	維持					
大腸(集団)	—	78.8%		—	改善					
大腸(個別)	—	80.0%		—	改善					
子宮頸(集団)	—	77.3%		—	改善					
子宮頸(個別)	—	79.3%		—	改善					
乳(集団)	—	78.6%		—	改善					
乳(個別)	—	86.7%		—	改善					

C 初期アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典		
			国	県	2次医療圏				年/年度	
C0403		精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行った市町村の割合	胃X線(集団)	-	97.1%		-	R4	改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
			胃X線(個別)	-	100.0%		-		維持	
			胃内視鏡(集団)	-	100.0%		-		維持	
			胃内視鏡(個別)	-	50.0%		-		改善	
			肺(集団)	-	97.1%		-		改善	
			肺(個別)	-	100.0%		-		維持	
			大腸(集団)	-	97.0%		-		改善	
			大腸(個別)	-	100.0%		-		維持	
			子宮頸(集団)	-	100.0%		-		維持	
			子宮頸(個別)	-	86.2%		-		改善	
			乳(集団)	-	100.0%		-		維持	
乳(個別)	-	73.3%		-	改善					
C0501		QI指標	-	要検討		-	-	改善	(詳細は別途定める)	
C0601		がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	○	○		-	-	改善	各がんゲノム医療中核拠点病院等がC-CATを参照して記載した現況報告書	
C0602		がんゲノム医療中核拠点病院等において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者の数：遺伝性腫瘍に係る「遺伝カウンセリング料」の算定件数	○	48人 -件		-	R4	改善	NDBオープンデータ がんゲノム拠点病院現況報告書	
C0603		がんに関する遺伝カウンセリング加算の拠点病院における実施施設数および件数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0604		拠点病院で遺伝医学に関する専門的知識・技能を有する医師・医療スタッフの数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0605		ゲノム情報を活用したがん医療について知っているのがん患者が回答した割合	18.3%	18.3%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0606		がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9%	48.0%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0701		外来化学療法の実施件数	313,823件	5,921件	仙南	272件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）	
					仙台	4,048件				
					大崎	795件				
					石巻	806件				
C0702		悪性腫瘍の手術実施件数	58,737件	1,126件	仙南	28件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）	
					仙台	869件				
					大崎	129件				
					石巻	100件				
C0703		悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	13,366,827件	268,914件	仙南	9,395件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
					仙台	196,147件				
					大崎	28,697件				
					石巻	34,675件				
C0704		術中迅速病理組織標本の作製件数	123,348件	3,304件	仙南	91件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
					仙台	2,698件				
					大崎	218件				
					石巻	297件				
C0705		病理標本作製件数	2,021,552件	33,240件	仙南	1,344件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
					仙台	24,684件				
					大崎	3,227件				
					石巻	3,985件				
C0706		拠点病院における「我が国に多いがん」の鏡視下またはロボット手術の件数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0707		拠点病院に配置されている常勤病理医の数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/現況報告書	
C0708		拠点病院に配置されている細胞診断に関する専門資格を有する者の数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/現況報告書	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏				年/年度
C0709		放射線治療の実施件数	200,200件	3,884件	仙南	9件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）/現況調査
					仙台	3,719件			
					大崎	124件			
					石巻	32件			
C0710		IMRTを提供している拠点病院等の数と割合	○	5施設 (71.4%)	仙南	0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	3施設 (60%)			
					大崎	1施設 (100%)			
					石巻	1施設 (100%)			
C0711		常勤の診療放射線技師が2人以上配置されているがん診療連携拠点病院等の割合	○	100%	仙南	100%	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	100%			
					大崎	100%			
					石巻	100%			
C0712		専従の放射線治療に関する専門資格を有する常勤の看護師が放射線治療部門に1人以上配置されている拠点病院等の割合	○	43%	仙南	—	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	40%			
					大崎	100%			
					石巻	0%			
C0713		がん診療連携拠点病院等のIMRT実施率	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0714		がん診療連携拠点病院等の常勤の医学物理士の数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0715		がん診療連携拠点病院等のRI治療実施件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0716		がん専門看護師の数	1,054人	16人	—	R4	改善	日本看護協会（医療計画作成支援データブック）	
C0717		がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する看護師外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	7施設 (87.5%)	仙南	1施設 (100%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	5施設 (100%)			
					大崎	1施設 (100%)			
					石巻	0施設 (0%)			
C0718		専門認定薬剤師数	786人	12人	—	R5	改善	日本医療薬学会（医療計画作成支援データブック）	
C0719		専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する薬剤師が1人以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南	1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	5施設 (100%)			
					大崎	1施設 (100%)			
					石巻	1施設 (100%)			

C 初期アウトカム											
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典			
			国	県	2次医療圏				年/年度		
C0720		薬物療法に携わる専門的な知識・技能を有する常勤の医師が1名以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%)	仙台 5施設 (100%)	大崎 1施設 (100%)	石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C0721		免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携等して対応している拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%)	仙台 5施設 (100%)	大崎 1施設 (100%)	石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C0722		自施設で対応できるがんについて提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%)	仙台 5施設 (100%)	大崎 1施設 (100%)	石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C0723		担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	○	○				-	-	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C0801		臨床倫理的、社会的な問題を解決するための具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス回数	○	5.69回	仙南 4回	仙台 7.3回	大崎 4回	石巻 1回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C0802		がん患者の口腔健康管理のため院内または地域の歯科医師と連携した拠点病院の割合および件数	-	100% 要検討	仙南 100% -件	仙台 100% -件	大崎 100% -件	石巻 100% -件	R4 -	維持 改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 宮城県がん診療連携協議会調査
C0803		連携充実加算を算定している拠点病院の割合および加算件数	-	要検討				-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ
C0804		がん患者指導管理料イの算定数	-	要検討				-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ
C0805		栄養サポートチーム加算を算定している拠点病院の割合とがん患者対象の加算件数	-	要検討				-	-	改善	現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査
C0806		医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	68.8%	64.6%				-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C0807		主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいた患者の割合	48.8%	47.6%				-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C0901		がんのリハビリテーションの実施件数	6,075,630件	106,421件	仙南 4,083件	仙台 77,393件	大崎 9,539件	石巻 15,406件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏				年/年度
C0902		がんリハビリテーション料届出医療機関数	1,953機関	35機関	仙南	3機関	R3	改善	診療報酬施設基準（医療計画作成支援データブック）
					仙台	22機関			
					大崎	4機関			
					石巻	6機関			
C0903		リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合	○	85.70%	仙南	—	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	100%			
					大崎	100%			
					石巻	0%			
C0904		がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置しているがん診療連携拠点病院の割合	○	100%	仙南	—	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	100%			
					大崎	100%			
					石巻	100%			
C1001		拠点病院のアピアランスケアの相談件数	○	655件	仙南	15件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 （相談支援センターの相談件数及び連携協力体制の院内で相談支援・支援の件数）
					仙台	463件			
					大崎	173件			
					石巻	4件			
C1002		リンパ浮腫外来の設置拠点病院等数と割合、対象患者数	—	要検討	—	—	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査	
C1003		ストーマ外来を設置している拠点病院の数と割合、対象患者数	—	要検討	—	—	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査	
C1004		治療による副作用の見通しを持ってた患者の割合	63.0%	68.5%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1005		身体的なつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	45.6%	48.2%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1006		外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できたがん患者の割合	28.3%	29.3%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1101		緩和ケア外来の新規診療患者数	○	595人	仙南	37件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	415件			
					大崎	14件			
					石巻	129件			
C1102		拠点病院の緩和ケアチーム新規介入患者数	○	2,205人	仙南	180人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	1,735人			
					大崎	157人			
					石巻	133人			
C1103		地域緩和ケア連携推進のための多施設合同会議の開催数	○	9回	仙南	1回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	7回			
					大崎	1回			
					石巻	0回			
C1104		地域の医療機関からの緩和ケア外来への年間新規紹介患者数	○	84人	仙南	34人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	46人			
					大崎	0人			
					石巻	4人			
C1105	○	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス回数	○	5.69回	仙南	4回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台	7.3回			
					大崎	4回			
					石巻	1回			
C1106		緩和的放射線治療の実施件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1107		神経破壊剤または高周波凝固療法を自施設または連携施設で実施した件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1108		拠点病院でのがん患者指導管理料イ・ロの算定件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏				年/年度
C1109		患者・家族が個室又は大部屋に関わらず概ね全ての病室において利用できる拠点病院の数と割合	○	3施設 (37.5%)	仙南 0施設 (0%)	0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台 2施設 (40%)				
					大崎 1施設 (100%)				
					石巻 0施設 (0%)				
C1110		緩和ケア研修修了者数（人口10万人対）	140.78人	93.35人		－	－	改善	健康推進課調べ
C1111	○	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1112	○	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1113		医療者はつらい症状にすみやかに対応していたと感じる割合	75.0%	74.6%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1114	○	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	46.5%	48.2%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1115		心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	32.8%	30.6%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1116		医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	71.9%	73.5%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1117		県民を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	－	－		－	－	改善	健康推進課調べ（県主催・共催・後援行事）
C1201		日本がん・生殖医療登録システムJOFRへの登録症例数	○	○		－	－	改善	日本・がん生殖医療学会からのデータ提供
C1202		生殖機能温存治療費助成の件数	－	32件		－	R4	改善	健康推進課調べ
C1203		温存後生殖補助医療費助成の件数	－	5件		－	R4	改善	健康推進課調べ
C1204		がん相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数	○	10件	仙南 1件	1件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台 10件				
					大崎 0件				
					石巻 0件				
C1205		治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	52.0%	50.0%		－	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1301		小児がん拠点病院で専門的な知識・技能を有する医師・医療スタッフの数	○	○		－	－	改善	小児がん拠点病院現況報告書
C1302		小児がん長期フォローアップ外来を開設している拠点病院の数と対象患者数	－	要検討		－	－	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1303		多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の数と割合	○	2施設 (25%)	仙南 0施設 (0%)	0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台 2施設 (40%)				
					大崎 0施設 (0%)				
					石巻 0施設 (0%)				
C1304		AYA支援チームの活動内容	－	要検討		－	－	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1401		高齢がん患者に意思決定能力を含む機能評価を行い、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院の数・割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%)	1施設 (100%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
					仙台 5施設 (100%)				
					大崎 1施設 (100%)				
					石巻 1施設 (100%)				

C 初期アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典		
			国	県	2次医療圏				年/年度	
C1402		初診及び入院高齢がん患者のうち上記の評価が実施された数と割合	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1403		拠点病院における高齢者の相談件数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1501		拠点病院相談支援センターの自施設・多施設からの新規相談件数	自施設	○	2,497件	仙南	293件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
						仙台	1,639件			
						大崎	220件			
						石巻	345件			
			他施設	○	1,022件	仙南	231件			
						仙台	750件			
						大崎	8件			
						石巻	33件			
C1502		相談員研修を修了したがん相談支援センター相談員（専従専任）の人数	○	20人	仙南	3人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)~(3)修了者のうち相談支援に携わる専従及び専任の人数)	
					仙台	13人				
					大崎	2人				
					石巻	2人				
C1503		上記のうちフォローアップ研修を受けた相談員の数	○	17人	仙南	1人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (定期的な知識の更新のための研修等受講人数)	
					仙台	15人				
					大崎	0人				
					石巻	1人				
C1504		拠点病院のがん相談窓口での相談件数	-	7,571件		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1505		拠点病院以外の施設のがん相談窓口での相談件数	-	1,193件		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1506		拠点病院におけるセカンドオピニオンの件数	○	186件	仙南	5件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (セカンドオピニオン受け入れ及び他への紹介の相談件数)	
					仙台	174件				
					大崎	5件				
					石巻	2件				
C1507		拠点病院で患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している数と割合	○	4施設 (50%)	仙南	0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
					仙台	3施設 (60%)				
					大崎	1施設 (100%)				
					石巻	0施設 (0%)				
C1508		拠点病院で各種冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる数と割合	○	○		○	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1509		各拠点病院で連携している患者会・サロンの数と開催回数・参加人数	回数	○	270回		○	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
			人数	-	要検討		-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1510		患者会・サロンの開催回数	-	270回		-	R3	改善	健康推進課調べ	
C1511		ピアサポーター養成研修受講者数	-	153人		-	R3	改善	健康推進課調べ	
C1512	○	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9%	48.0%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1513		相談支援センターについて知っているがん患者の割合	66.4%	71.2%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1514		ピアサポートについて知っているがん患者の割合	27.3%	24.3%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1515	○	ピアサポートを利用したことがあり、役に立ったがん患者の割合	88.1%	○		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1516	○	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3%	79.9%		-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1601		在宅末期医療総合診療科届け出施設数	○	127施設		○	R3	改善	診療報酬施設基準	

C 初期アウトカム								
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典
			国	県	2次医療圏			
C1602		在宅がん医療総合診療料の算定件数	523,514件	36,381件	仙南 6,952件 仙台 24,892件 大崎 3,473件 石巻 1,064件	R3	改善	NDBオープンデータ
C1603		専門医療機関連携薬局の認定数	135	6	—	R4	改善	業務課調べ
C1604		病院以外の自宅・施設でのがん患者看取り率	○	○	—	—	改善	人口動態推計
C1605	○	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9%	48.0%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1701	○	拠点病院のピアランスケアの相談件数	○	655件	仙南 15件 仙台 463件 大崎 173件 石巻 4件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 （相談支援センターの相談件数及び連携協力体制の院内で相談支援・支援の件数）
C1702	○	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた患者の割合	28.3%	29.3%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1703		拠点病院の就労支援の相談件数	○	249件	仙南 42件 仙台 113件 大崎 85件 石巻 9件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 （相談支援センターの相談件数）
C1704		療養・就労両立支援指導料のがんを対象とした算定数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1705		拠点病院での就労の専門家による相談会の件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1706		拠点病院で長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1707		長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	5.6%	10.2%	—	R3	改善	宮城労働局
C1708		拠点病院での両立支援コーディネーター研修修了者数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1709		両立支援コーディネーター研修修了者数	17,695人	564人	—	R4	改善	労災疾病等医学研究普及サイト（労働者健康安全機構）
C1710		がん患者の自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院の数と割合	○	3施設 (37.5%)	○	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C1711	○	各拠点病院で連携している患者会・サロンの数と開催回数・参加人数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1712		治療開始前に就労の継続について説明を受けたがん患者の割合	39.50%	51.80%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1713		がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	39.5%	51.8%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1714		退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	80.2%	75.5%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1715		治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	56.8%	57.6%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1716		治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされている患者の割合	54.2%	57.1%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1717		（家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	65.0%	68.6%	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1801		拠点病院におけるAYA世代の相談件数	—	要検討	—	—	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1802		小児がん拠点病院の相談件数	—	185件	—	R4	改善	小児がん拠点病院現況報告書
C1803		小慢さばーとせんたーの相談件数	—	778件	—	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ（仙台市含む。）
C1804		がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	89.0%	○	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1805	○	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた若年患者の割合	46.3%	○	—	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）
C1901		外部講師を活用してがん教育を実施した学校の数と割合	3,040校 8.4%	25校 3.5%	—	R3	改善	がん教育の実施状況調査
C1902	○	拠点病院が実施した地域を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	○	○	○	—	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C1903	○	県民を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	—	—	—	—	改善	健康推進課調べ（県主催・共催・後援行事）

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏	年/年度			
C2001		宮城県がん診療連携協議会における患者・市民を代表する委員の割合	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C2002		宮城県がん対策推進協議会における患者・市民を代表する委員の割合	-	○	-	-	改善	健康推進課調べ	
C2101		宮城県がん登録の活用件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん登録室調べ	

↑ 上記番号は、ロジックモデルの各項目にある番号に対応

- ・A最終、B分野アウトカムは、下4～3桁目が項目番号、下2～1桁目が、同じ項目でも複数がある場合に1から番号を振っている。
- ・C中間アウトカムは、下5～3桁目が項目番号、下2～1桁目が、同じ項目でも複数がある場合に1から番号を振っている。

- : 国や県で集計・公表を予定しているもの
- (○) : 国において都道府県利用が可能となっている指標
- : 国や県で集計・公表不可のもの

(例)

A1 「がんの死亡率が減少する」の指標は、A101～A102

C01 「危険因子となる生活習慣が改善している」の指標は、C0101～C0110